



平成 15 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 ヤ フ ー 株 式 会 社
代表者の役職名 代表取締役社長 井上 雅博
(JASDAQ 上場銘柄 コード番号 4 6 8 9)
問い合わせ先 経理部長 内田 賢行
電 話 0 3 - 6 4 4 0 - 6 0 0 0

平成 15 年 3 月期 決算内容の一部追加について

平成 15 年 4 月 25 日に発表いたしました平成 15 年 3 月期決算短信(連結)添付資料について、下記の記載を追加いたします。

記

2. 添付資料

(2) 経営方針

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方およびその施策の実施状況

当社はコーポレート・ガバナンスを「株主、顧客、従業員、社会に対する中長期的な企業価値の増大」をはかるための経営統治機能と位置付けております。「中長期的な企業価値の増大」の担い手である全役員、全従業員が法律、社会規範、倫理などについて継続的に意識の維持向上をはかり、着実な実践につなげるべく、コンプライアンスやリスクマネジメントの根幹となる各種規程類を整備し、定期的なセミナー等の開催を実行しております。

1. 取締役会

取締役会は社外取締役 1 名を含む 4 名で構成されております。取締役会は 2002 年度 20 回開催され、会社の経営方針、経営戦略、事業計画、重要な財産の取得および処分、重要な組織および人事に関する意思決定、ならびに当社および子会社の業務執行の監督を行いました。会社の戦略的かつ迅速な経営を実現し、競争力を維持・強化するために事業部制の導入(平成 14 年 1 月以降)をはかり、経営の意思決定、業務執行の監督(取締役会)と、業務執行(事業部)を分離し役割分担の明確化をはかりました。事業部長を中心とし、常勤取締役、監査役等を含んだ経営会議は、取締役会の前置機関として位置付けほぼ毎週開催されました。経営会議では取締役会の意思決定を要する事項の事前審査を行うと共に、取締役会から委譲された権限の範囲内で当社およびグループ各社に関する重要事項の決定を行いました。

2. 監査役会

監査役会は 4 名で構成され、全員が社外監査役で内 1 名が常勤であります。監査役会は 2002 年度 10 回開催され、各監査役は監査役会が策定した監査計画に従って監査しました。業務活動の全般にわたり、方針、計画、手続の妥当性や業務実施の有効性、法律、法令遵守状況等につき、取締役会、経営会議への出席、重要な書類の閲覧、子会社の調査などを通じた監査を行い、これらの結果を監査役会に報告しました。さらに監査役会は会計監査人から監査の方法と結果につき報告を受けました。また業務監査室より社内監査の方法と結果につき報告を受けました。これらに基づき、監査役会は定期的に監査の結果を常勤取締役に説明すると共に、2003 年 5 月 15 日には監査報告書を取締役に提出する予定であります。

3. 業務監査室

内部監査機能の充実をはかるため、業務監査室に管理部門等に分散していた一部機能を集中させ、社長直属の組織として2名構成で運営しております。リスク防止等の内部監査機能を担っており、業務全体にわたる内部監査を実施し、業務の改善に向け具体的助言、勧告を行っております。実際の業務遂行は被監査部門等の協力を得て広範な業務遂行が可能な仕組みを作っております。

4. 株主総会

株主総会は株主の参加を容易にするため、他社の開催日とずらし開催しております。ITの活用の一環として、インターネットによる議決権行使が可能であります。株主総会は法定の様式に則り運営されておりますが、総会直後に開催される経営近況報告会では、企業の考え方、財務内容に加えて、直近の経営状態を、スライド等を使用して視覚的かつ詳細に説明し、後日インターネットによるオンデマンド中継で会場の状況を放送しております。

5. 監査法人等

商法で定められた会計監査人として中央青山監査法人と監査契約を結んでおります。会社の規模に比べ充実している法規部門に加え、経営の透明性とコンプライアンスの確立のため、法律顧問として2つの法律事務所と契約を結び、日常発生する法律問題全般に関して適切な助言と指導を適宜受けられる体制としております。

6. IR・ディスクロージャー

法定開示に加え、四半期毎に決算書類の開示を実施しており、加えて事業部単位の成果を月次情報として、またIRスケジュールをイベントスケジュールとして当社のホームページにインターネット上で開示しております。加えて四半期決算開示情報はJASDAQのインターネット開示システムでも検索可能であります。四半期毎に約70社のアナリストやジャーナリストと面談し、IRを通して、会社の成長戦略や経営情報を積極的に開示しております。

以上